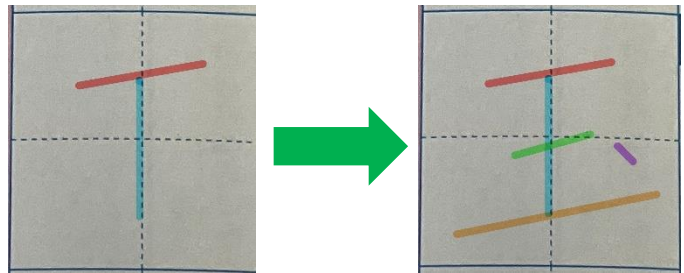


児童・生徒の実態

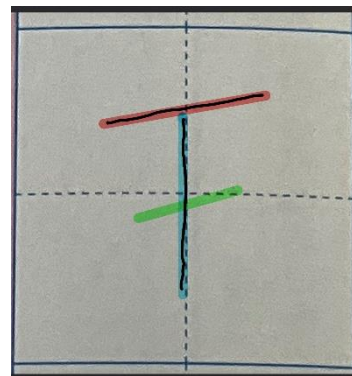
- ・文字や数字を書くことが苦手（どのようにして書けばよいのか、分からない）。

☆手立て・合理的配慮

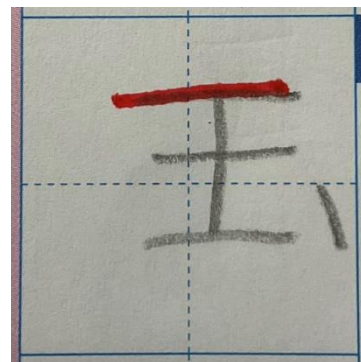
- ・タブレット端末の画面録画機能を活用し、一画ずつ線が書かれる様子を視聴する。



- ・視聴した動画を、児童のロイロノートに送り、動画に合わせて、指やタッチペンでなぞる。



- ・ノートや練習プリントに文字を書くとき、本人の困り感に合わせて、赤ペンで一部分を書き入れる。



支援を受けてみて

- ・「漢字練習プリントをたくさん持ち帰って、取り組みたい。」

(本人)